

災害に備えて

6月から9月にかけて災害の多い季節です。近年は線状降水帯が多発し、予測できない集中豪雨がしばしば起こっています。いつ発生するか分からない災害に備え日頃から対策をしておきましょう。

☑ 日頃からの対策

食料・飲料などの備蓄、十分ですか？

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ普通の生活の中で利用されている食品等を備えるようにしましょう。

食料・飲料・生活必需品などの備蓄の例（人数分用意しましょう）

- ・飲料水 3日分（1人1日3リットルが目安）
- ・非常食 3日分の食料として、ご飯（アルファ米など）、板チョコ、乾パンなど
- ・トイレトーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく・カセットコンロなど



※大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。

※飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水を張っておく、などの備えをしておきましょう。

非常用持出バッグの準備できていますか？

自宅が被災した場合、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。

非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

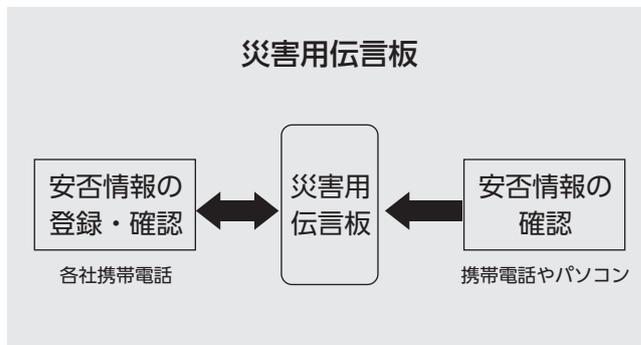
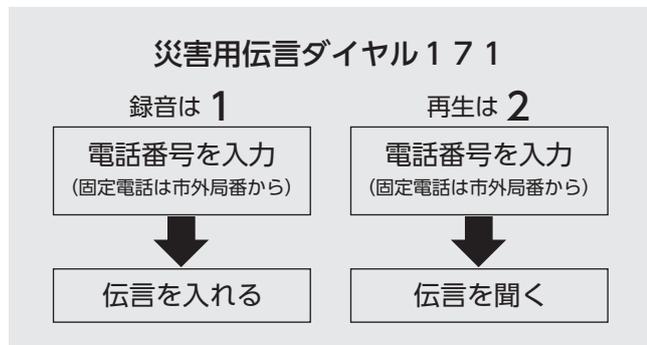
災害の備えチェックリスト

- 携帯用飲料水（1人1日3ℓ×3日分）、食料（1人3日分）
- 貴重品（現金、預金通帳、印鑑など）
- 救急用品（絆創膏、消毒液、包帯など）
- 懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池、携帯電話の充電器、ヘルメット、防災ずきん
- 衣類（着替え、下着など）、毛布、使い捨てカイロ
- 常備薬（おくすり手帳）、乳児のいる家庭はミルク、紙おむつなど
- ウイルス感染予防用品（マスク、ウェットティッシュ、体温計、スリッパなど）



ご家族同士の安否確認方法、決まっていますか？

家族が別々の場所にいるときに災害が発生した場合でもお互いの安否を確認できるよう、日頃から安否確認の方法、集合場所などを、事前に話し合っておきましょう。災害時には携帯電話の回線がつながりにくくなり、連絡が取れない場合もあります。その際には、災害伝言ダイヤルサービスや災害伝言版を利用しましょう。



避難場所や避難経路、確認していますか？

いざ災害が起きた時にあわてずに避難するためにも、ハザードマップの確認や「支え合い・助け合いマップ」づくりを行いましょう。

※豪雨、地震、火山噴火など災害種類によって安全な避難場所が異なります。

それぞれの災害をイメージして、どのように行動すれば安全に避難できるか考えてみましょう。

支え合い・助け合いマップづくりとは？

地域にどんな人が住んでいるか、日頃から行われている見守り活動の状況などを大きな住宅地図に記入し、地域の皆さんで情報を共有するものです。マップ作りのなかで災害時の危険箇所や緊急時の対応、避難場所などを住民同士で共有し、防災意識を高めていきます。マップ作りを希望する行政区は健康福祉課（76-3821）までご連絡ください。



▲九重町
ハザードマップ

九重町LINE公式アカウントへの登録をお願いします！

LINE公式アカウントでは、町のイベント情報の他、災害時には避難所の情報や道路情報等を発信しています。更に災害時にはリッチメニューにて気象情報やハザードマップ等をご確認いただけます。

登録方法

① LINEアプリを起動し、「ホーム」を開く

② 画面右上の  をタップ（押す）する

③  QRコードを読み取る



または

 ID検索に @Kokonoe_Town を入力



▲九重町HP
公式アカウント案内

